

〔草勢管理技術の改善による夏果菜の高品質化〕

### 黄化葉巻病抵抗性トマト品種の高品質化

#### ～（１）セル苗直接定植が抵抗性品種「アニモ TY-12」の収量に及ぼす影響～

海保富士男・沼尻勝人・野口 貴

（園芸技術科）

---

【要 約】抵抗性品種のなかで果実がやや小さいが裂果が少なく可販収量も高い「アニモ TY-12」について、セル苗を直接定植することで、ポット苗と比べて収穫果数や可販収量は変わらないが、果実肥大の劣る１～３段での果実肥大を図ることが可能である。

---

#### 【目 的】

昨年までの結果、抑制栽培で抵抗性品種の可販収量には裂果の発生が大きく影響し、品種間差が大きいことがわかった。そのなかで、「アニモ TY-12」は果実がやや小さいが裂果が少なく可販収量も高い。そこで、「TY-12」をセル苗直接定植し、強めの草勢を適切に管理して果実肥大を図ることとする。そのために、セル苗直接定植が収量に及ぼす影響をポット苗と比較検討し、適正な草勢管理の指標となる生育の値を明らかにする。

#### 【方 法】

「TY-12」を2014年6月2日に128穴セルトレイに播種した。セル苗を6月29日にハウス内へ直接定植した区と、10.5cmポットで2次育苗して7月10日に定植した区を設けた。施肥方法は、ポット苗では慣行施用（配合肥料・被覆肥料の基肥＋液肥追肥）で行った。また、セル苗では慣行施用に加え肥効調節施用（緩行性肥料・被覆肥料の全量基肥施用）、液肥施用（4段開花以降液肥施用）の区を設け、それぞれN成分量で10aあたり18kg（液肥は14kg）施用した。1区5株の4連性とし、8段摘心で7段まで収穫調査を行った。

#### 【成果の概要】

1. 収穫果数は、各区とも3段および6段以上で少なかったが、ポット苗とセル苗、施肥方法の間では差がなかった（図1）。肥効調節区で各段の果数のばらつきが小さかった。
2. 果房別1果重は、いずれの区も3～4段で小さくなった。セル苗区は、1～3段でポット苗区より大きかった（図1）。また、5段で肥効調節区が慣行区より大きかった。各段の1果重のばらつきも肥効調節区が他のセル苗区やポット苗区より小さかった。
3. 果房別の収量をみると、いずれの区も3～4段で少なかった。セル苗区は1～2段の低段において収量がポット苗区より多かった（図2）。
4. 総収量は、セル苗区がポット区より多かった。総収穫果数にセル苗とポット苗に差がなく、1果重はセル苗区がポット苗より大きかった（図3、表1）。
5. A品とB品を合わせた可販収量は、セル苗区とポット苗に差がなかった（図3、表1）。また、可販果の収穫果数にも差がなかったが、可販果の1果重はセル苗区がポット苗より大きかった。また、一方、裂果の発生はセル区とポット苗区に差はなかったが、下物果の収量はセル苗区がポット区より多かった。
6. まとめ：「アニモ TY-12」のセル苗を直接定植することで、ポット苗と比べて収穫果数や可販収量は変わらないが、総収量が増加し、果実肥大の劣る1～3段での果実肥大を図ることができる。

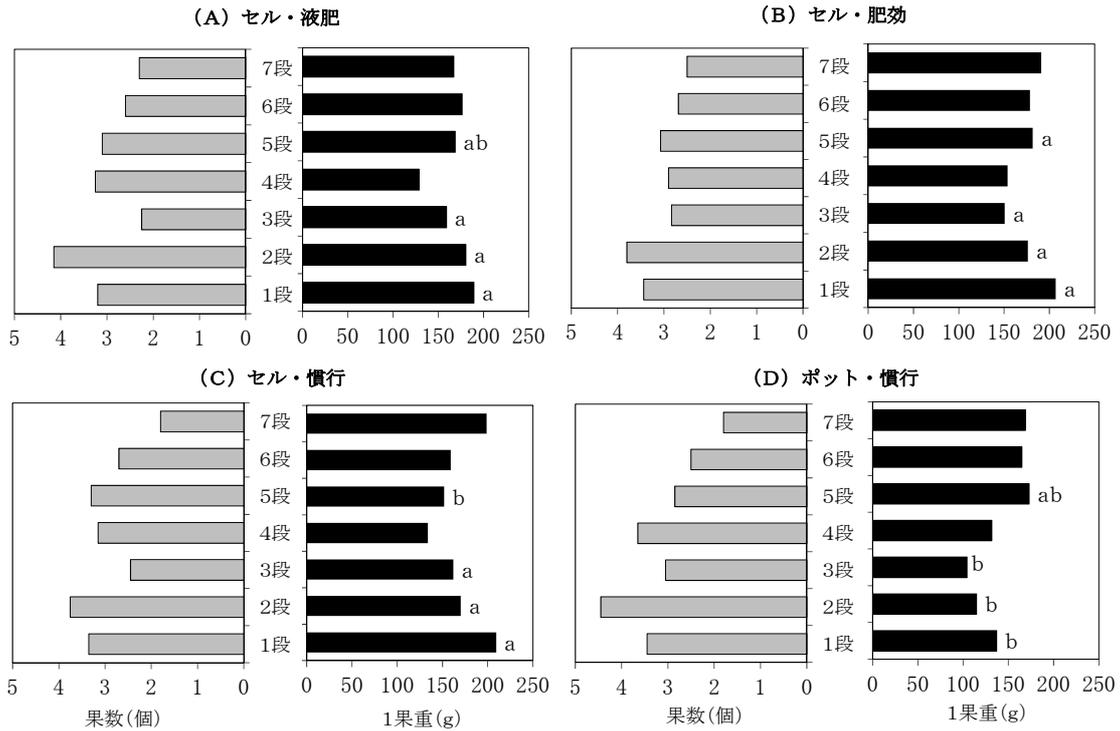


図1 育苗および施肥方法が収穫果数, 1果重に及ぼす影響  
同一果房(段)で果数および1果重の異なる文字間にはTukey法により5%水準で有意差あり

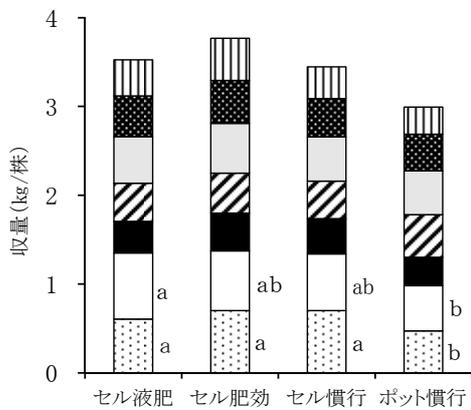


図2 育苗および施肥方法が果房別収量に及ぼす影響

同一果房(段)の異なる文字間にはTukey法により5%水準で有意差あり

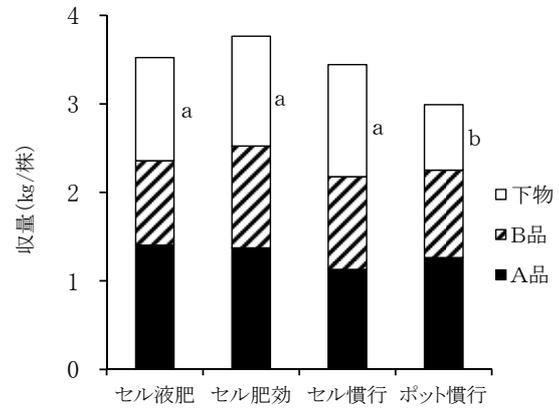


図3 育苗および施肥方法が規格別収量に及ぼす影響

同一項目内の異なる文字間にはTukey法により5%水準で有意差あり

表1 育苗および施肥方法が収量に及ぼす影響

育苗・施肥方法	収穫開始 (月/日)	総収穫果			可販果 <sup>a</sup> (A品+B品)				裂果数 <sup>b</sup> (個/株)
		果数 (個/株)	重量 (g/株)	1果重 (g)	果数 (個/株)	重量 (g/株)	1果重 (g)	可販率 (%)	
セル苗・液肥	8/22	20.7	3524 a	170 a	13.2	2359	177 a	63.8	3.9
セル苗・肥効調節	8/22	21.2	3766 a	177 a	14.4	2524	175 a	68.0	3.8
セル苗・慣行	8/22	20.5	3446 a	168 a	12.7	2178	172 a	61.7	5.5
ポット苗・慣行	8/24	21.3	2993 b	141 b	14.8	2251	148 b	69.2	3.7

異なる文字間にはTukey法により5%水準で有意差あり

a)可販果とはA品(市場出荷が可能)とB品(軽微な不良果だが直売可能と判断)を合わせたもの

b)裂果には、同心円状裂果、放射状裂果、側面裂果を合わせたもの